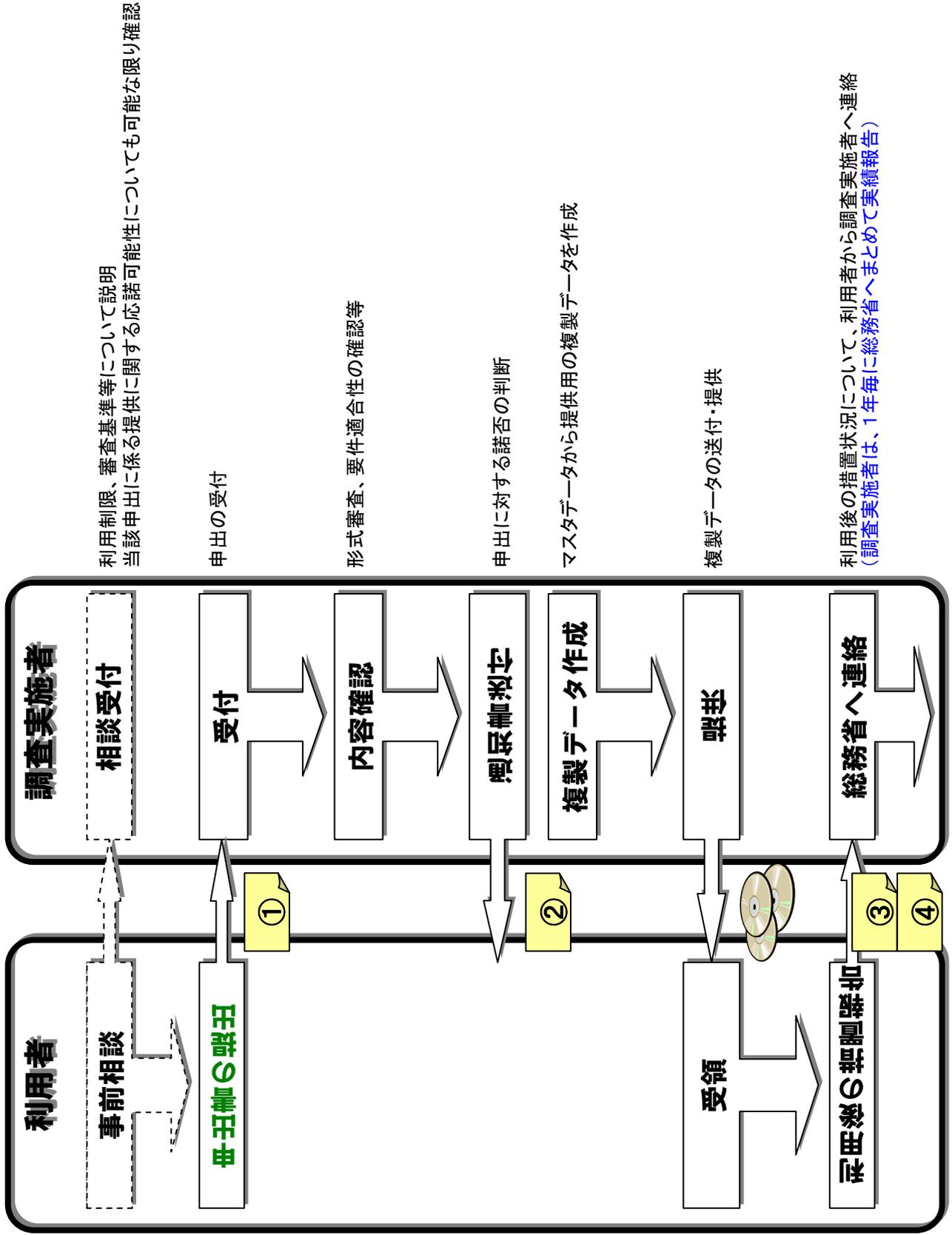
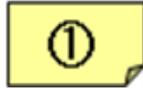


# 調査票情報提供に係るフロー

## 別添資料3





文 書 番 号

平成〇年〇月〇日

(行政機関又は届出独立行政法人等の長) 殿

申 出 者

〇〇統計調査に係る調査票情報の提供について（申出）

標記について、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 33 条の規定に基づき、  
別紙のとおり調査票情報の提供の申出を行います。

## 1 申出の根拠

ア 法第 33 条第 1 号に基づく申出

① 法第 33 条第 2 号に基づく申出

## 2 統計調査の名称

〇〇統計調査（基幹統計「〇〇」を作成するための調査）

## 3 調査票情報の利用目的

〇〇省の補助金を受けて行う「…に関する研究」の一環として、…について分析する基礎資料を得る。なお、研究概要は別添 1

## 4 調査票情報の利用者の範囲

〇〇大学経済学部教授〇〇〇〇（氏名）  
" 助教〇〇〇〇（氏名）  
" 助教〇〇〇〇（氏名）

## 5 オンサイト利用であるか否か

オンサイト利用ではない

## 6 利用する調査票情報の名称及び範囲

- (1) 名称 〇〇統計調査（乙調査票）  
(2) 年次 平成 12 年 1 月～12 月及び平成 17 年 1 月～12 月  
(3) 地域 全国  
(4) 属性的範囲 調査対象

## 7 利用する調査事項及び利用方法

<調査事項>

都道府県番号、事業所一連番号、資本金、生産額…

※ 使用する調査項目は別添 2 のデータレイアウト上に○を記入

<利用方法>

〇〇大学経済学部の〇〇教授及び〇〇助教が、経済学部のシステム室において、「利用する調査事項」欄記入の調査票情報（データレイアウトは別添 2）の内容を用いて〇〇の分析を行う。集計様式は別添 3、分析出力様式は別添 4 のとおり。

## 8 利用期間

平成 21 年 7 月 1 日から同年 11 月 30 日までの間

## 9 利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法

施錠可能な経済学部のシステム室内に限定して利用し保管時のみ〇〇教授の研究室に持ち込むこととし、それ以外の持ち出しを禁止する。また、上記 3 に記載する者がシステム室内に入る職員を相互にチェックする。

なお、システム室内のサーバー及び 5 台のクライアントはシステム室内だけの LAN 環境となっており、外部ネットワークとは物理的に接続していない。（システム室内システム構成図は別添 6）

調査票情報及び中間生成物は全て外付けの USB メモリーに格納しサーバー及びクライアントに内蔵される記憶装置には一切の情報の蓄積を行わない。さらに、これらの情報を使用しないときは、当該 USB メモリーをクライアントから外し、〇〇教授の研究室に同教授が鍵を管理する施錠可能なボックスで保管する。保管管理責任者は〇〇教授とする。

## 10 結果の公表方法及び公表時期

研究終了後、集計結果は論文の添付資料として学会で発表するとともに、大学 HP にて掲載する予定。なお、事業所数が 1 若しくは 2 となる場合には秘匿するほか、3 以上となる場合であっても、個々の事業所の秘密が漏れない方法により行う。

## 11 転写書類の利用後の処置

調査票情報及び分析に集計に用いた中間集計表についても、当該目的以外に使用しないこととし、利用終了後直ちにメモリー及びハードディスクから消去する。なお、提供された CD-R は返却する。

## 12 事務担当者

〇〇大学経済学部〇〇助教 住所 〒XXX-XXXX 〇〇県〇〇市〇〇 〇〇大学経済学部〇〇研究室  
TELXX-XXXX-XXXX、E-Mail XXXX@XX.XX.ac.jp

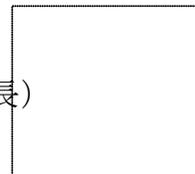
注) 下線部以外は記入例



文 書 番 号  
平成〇年〇月〇日

(申 出 者) 殿

(行政機関又は届出独立行政法人等の長)



〇〇統計調査に係る調査票情報の提供について (通知)

(対：平成 年 月 日付け 第 号)

標記については、下記の事項を条件として、統計法 (平成 19 年法律第 53 号) 第 33 条の規定に基づき調査票情報を提供します。

なお、以下の点に留意してください。

- ① 利用後は、別紙 1 により転写書類の利用後の処置について速やかに報告するとともに、別紙 2 により調査票情報の利用の成果を報告してください。
- ② 申出事項に変更が生じたときには、改めて申出を行ってください。

記

注) 二重下線部は、条件付の提供の際にのみ記載する。

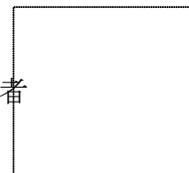


(別紙1)

文書番号  
平成〇年〇月〇日

(行政機関又は届出独立行政法人等の長) 殿

申出者



### 転写書類の利用後の処置について

平成〇年〇月〇日付け(文書番号)で提供を受けた〇〇統計調査に係る調査票情報については、下記のとおり処置しましたので、報告します。

### 記

- 1 転写書類の内容
  
- 2 処置の方法  
(焼却      消去      返納      溶解      裁断)
  
- 3 処置した者
  
- 4 処置した年月日  
平成    年    月    日

注1) 転写書類には、個体識別できる中間集計表を含みます。

2) 「処置の方法」については、該当するものに○を付してください。

3) 「処置した者」については、申出書の記載を踏まえて記述してください。したがって、組織的な使用をしている場合には、「〇〇課〇〇係の職員」等と記述してください。

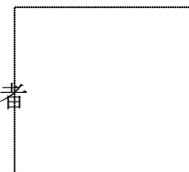


(別紙2)

平成〇年〇月〇日

(行政機関又は届出独立行政法人等の長) 殿

申 出 者



調査票情報の利用による成果について

平成〇年〇月〇日付け(文書番号)で提供を受けた〇〇統計調査に係る調査票情報の利用による成果について、下記のとおり報告します。

記

《記載例》

- ・ 「〇〇基本計画」を策定するための基礎資料として、〇〇、〇〇等の統計を作成し、〇〇の実態を把握した。実態把握結果の概要は別添のとおり。なお、実態把握結果を踏まえ、「〇〇基本計画」を平成〇年〇月までに策定(閣議決定)する予定である。

詳細は以下のHP参照

<http://www.xxxxxxxxx.com>

- ・ 〇〇省の〇〇補助金を受けて行う「〇〇に関する研究」の一環として、〇〇、〇〇等の統計を作成し、〇〇について分析する基礎資料とした。〇〇に関する分析結果の概要は～～であり、同結果については、平成〇年〇月に〇〇省に報告を行った。

研究報告書は以下のHP参照

<http://www.xxxxxxxx.com>

- ・ 〇〇統計の誤差の評価を行い、その改善策について取りまとめ、平成〇年〇月に〇〇学会において発表した。取りまとめた改善策の概要は以下のHPに掲載

<http://www.xxxxxxxx.com>

注1) 申出書の利用目的欄の記載を踏まえ、調査票情報の利用による成果について、その概要を記載し、必要に応じて、資料を添付してください。

2) 本報告は、申出書に記載した利用目的を達した時点で、提出してください。

3) 調査票情報を利用した結果、所期の目的を達しなかった場合は、その旨を報告してください。